重度訪問介護従業者養成研修情報開示

研修機関情報	法人情報	株式会社　土　屋 岡山県井原市井原町 192 番地 2 久安セントラルビル 2 階 代表取締役　大山敏之 土屋ケアカレッジ 代表　五十嵐憲幸
	研修機関情報	●事業所名 土屋ケアカレッジ　札幌教室 〒003-0002 北海道白石区東札幌二条 5 丁目 7-8 3D コート 3A 号室 ●理念 「インタラクティブなケアアテンダントの育成とケアサービスの向上」 ●学則 別紙「学則」とおり ●研修施設 別紙「実習施設一覧」とおり ●設備 別紙「実技演習使用備品等一覧」とおり
研修事業情報	研修の概要	●対象 別紙「学則」第 5 条とおり ●研修スケジュール ・日程 1 日目　9:00～オリエンテーション　9：30～18:50　通信 2 日目　9：00～20:50　通学 3 日目　3.5 時間　介護サービス提供現場での実習 （ホームページにて公示） ・期間 別紙「学則」第 3 条とおり ・時間数 別紙「研修カリキュラム表」とおり ●定員 20 名　　講師数　19 名　別紙「講師一覧」とおり ●研修受講までの流れ 別紙「学則」第 12 条とおり

		●費用 別紙「学則」第 6 条とおり ●留意事項、特徴、受講者へメッセージ等 ホームページ　「プライバシーポリシー」「特定商取引法に基づく表示」「土屋ケアカレッジについて」参照
	課程責任者	●課題編成責任者 　加納康行
	研修カリキュラム	●科目別別シラバス 　別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ●科目別時間数 　別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ●科目別担当教官名 　別紙「講師一覧」とおり ●科目別特徴 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり 別紙「備品一覧」とおり ●科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ●通信課題の教材・指導体制・指導方法・課題 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ●修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 　別紙「学則」第 13 条とおり
	実習施設	●協力研修機関の名称・住所等 ホームページ参照：ホームケア土屋札幌・白石 ●協力研修機関の介護保険事業の概要 ホームページ参照：ホームケア土屋札幌・白石 ●協力研修機関の実習担当者名 別紙「実習施設一覧」とおり ●実習プログラムの内容、実習プログラムの特色 別紙「研修カリキュラム表」とおり

		●実習中の指導体制・内容（振返り・実習指導等） 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ●協力実習機関における延べ人数 130 名（2025.12 月）
	その他	●資格取得後に就業可能な職務 　居宅介護・重度訪問介護サービス事業所
講師情報		●名前　●略歴、現職、資格、担当科目 別紙「講師一覧」とおり
実績情報		●過去の研修実施回数(年度ごと) 2020 年度 9 回　2021 年度 34 回　2022 年度 44 回　2023 年度 43 回　2024 年度 44 回 ●過去の研修延べ参加人数（年度ごと） 2020 年度 19 名　2021 年度 59 名　2022 年度 97 名　2023 年度 104 名　2024 年度 101 名
連絡先等		●申込・資料請求先 土屋ケアカレッジ運営事務局 TEL：050-3138-2024 Mail:college@care-tsuchiya.com Web: https://tcy-carecollege.com ●法人の苦情対応者・役職・連絡先 土屋ケアカレッジ代表　五十嵐憲幸　050-3138-2024 ●事業所の苦情対応者・役職・連絡先 札幌教室　運営マネージャー　加納康行　090-9142－3392

土屋ケアカレッジ　　重度訪問介護従業者養成研修　統合課程学則

（事業所の名称・所在地）

第１条　本研修は次の事業者が実施する。

株式会社　土屋

岡山県井原市井原町１９２番地２久安セントラルビル２階

（目的）

第２条　地域で在宅生活を営まれる重度障害者、特に医療的ケアを必要とする方々に対して、適切なケアサービスを提供できるよう、現場に即した知識並びに技術の習得を目的とする。

（実施課程および形式）

第３条　１　前条の目的を達成するために、次の研修事業（以下研修という。）を実施する。

２　年度ごとに計画を立案し通年募集とする。締め切りは、都度７日前とする。

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修了年限	研修期間	定員（人）	受講対象者
重度訪問介護従業者養成研修　統合課程	札幌市	通信	2ヶ月	3日間	20名	一般

（研修事業の名称）

第４条　研修名称は、次の通りとする。

土屋ケアカレッジ　重度訪問介護従業者養成研修 統合課程

（受講対象者）

第５条　受講対象者は次のものとする

北海道内に在住、在勤または在住、在勤予定で通学可能なもの

（研修参加費用）

第６条　研修参加費用は次のとおりとする

１　受講料　３０，０００円（税込み、テキスト代含む）

２　納付方法　一括納入

３　納付期限　受講開始日まで

４　キャンセル（返金）について　「特定商取引法に基づく表示」によるものとする。（ホームページ掲載）

（使用教材）

第７条　研修に使用する教材は次のとおりとする。

喀痰吸引等研修テキスト　全国自立生活センター協議会

（研修カリキュラム）

第８条
１　研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは、
別紙「研修カリキュラム表」のとおりとする。
２　その他の研修概要は別紙「情報開示」のとおりとする。
（研修会場）
第９条　前条の研修を行うために使用する講義および演習会場は、次のとおりとする。
講義・演習：土屋ケアカレッジ　札幌教室
実習：別紙「実習先一覧」のとおり
なお、令和２年４月２８日付厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第５報）問１１」にある通り、当面新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減する観点から、受講者が一堂に会した講義に代えて、通信の方法による講義にて開催する。具体的にはオンラインシステムであるZoomを使用し、講師と受講生が双方向コミュニケーションが可能な形式にて実施する。

（担当講師）
第１０条　研修を担当する講師は別紙「担当講師一覧」のとおりとする。

（科目の免除）
第１１条科目の免除は行わない。

（募集手続き）
第１２条　募集手続きは次のとおりとする。
(1) 申込み方法：電話・メール・Webにて受付。運営事務局は受付後、受講者に受講決定通知をメールにて送付。
申込み先：土屋ケアカレッジ運営事務局
TEL：050-3138-2024
Mail:college@care-tsuchiya.com
Web: https://tcy-carecollege.com
受講決定方法：申し込み受付後定員調整の上決定
（応募者多数の場合の決定方法：申込順）
(2)　当社は、書類審査の上、受講者の決定を行い受講の決定を受講者あてに通知する。
(3) 受講の決定を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
(4) 当社は、受講料等の納入を確認した後、受講者へ教材を郵送する。

（修了の認定）
第１３条
１　修了の認定は、第８条に定めるカリキュラムを履修し、修了評価試験において９０点以上（１００点を満点とする）のものに対して行う。なお修了試験において９０点に満たなかったものについては必要に応じて再試験を実施する。
評価者は資格を有する担当講師とする。
２　2日目までの受講態度（1日目通信講義、課題含む）及び演習、実習の技術によって、講師が重度訪問介護従業者として適切と認める場合にのみ、現場同行の実習を受けることができる。現場同行実習を受講できない者については失格とする。

（不適切と判断された場合の取扱い）
失格者本人に不適切な旨を理由と共に伝え、現場同行を受けられない旨を理解いただいた上、失格とする。

（研修欠席者及び早退者の扱い）
第１４条
１　理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。
また、やむを得ず欠席する場合には必ず欠席の届出をする。
２　研修を途中半ばにして早退せざるを得なくなった者ついて第 15 条のとおりとする。
３　出欠確認について来校時出席簿への捺印又は記名による記録並びに教室担当者の確認によるものとする。

（補講の取り扱い）
第１５条　研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、他の日程に行われる当法人の研修に参加し振替え補講を行うことにより、当該科目を修了したものとみなす。

（受講の取り消し）
第１６条　次に該当する者は、受講を取り消すことができる。
１　学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者。
２　研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者。
３　重度訪問介護従業者として適性に欠く者
４　反社会的勢力またはその関係者と認められる者。

（修了証明書の交付）
第１７条
修了を認定されたものには、当法人において修了証明書および修了証明書（携帯用）を交付する。

（修了者管理の方法）
第１８条　修了者管理については、次により行う。
１　修了者を修了者台帳に記載し、永久保存するとともに、北海道が指定した様式に基づき知事に報告する。
２　修了証明書の紛失などがあった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。
修了証の発行手数料は 2,000 円＋発送手数料（代引き手数料＋送料）とする。

（研修事業執行担当部署）
第１９条　本研修事業は、株式会社土屋研修事業部にて執行する。
（その他留意事項）
第２０条　研修事業の実施にあたり、次のとおり必要な措置を講じることとする。
　１　研修の受講に際して、研修開始日までに本人確認を行う。本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出などにより行うものとし、本人確認ができない場合は、受講の拒否または修了の認定を行わないものとする。
　①運転免許証の提示②健康保険証の提示③パスポートの提示④在留カードなどの提示
　⑤住民基本台帳カードの提示
　２　研修に関して下記の苦情などの窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情および事故が生じた場合には迅速に対応する。
　苦情対応部署：株式会社土屋 土屋ケアカレッジ運営事務局　苦情担当窓口
　　電話　050-3138-2024
　　土屋ケアカレッジ札幌教室
　　電話　090-9142-3392
　３　事業実施により知りえた受講者などの個人情報をみだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用しない。
　４　講師または受講生について、他法人が経営する事業所、施設への勧誘行為等を禁止する。

（施行細則）
第２１条　この学則に必要な細則並びにこの学則に定めのない事項で必要があると認められるときは、当法人がこれを定める。

（附則）
この学則は令和3年1月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和5年4月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和6年3月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和6年4月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和7年5月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和8年2月1日から施行する。

（附則）
この学則は令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

重度訪問介護従業者養成研修統合課程カリキュラム

教科名	目的	内容（シラバス）
Ⅰ 講義１１時間 ※ 網掛けになっている教科は、基本研修に相当する講義。		
1 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（２時間）		
(1) 障害者総合支援制度とサービス （１時間　通信）	障害者自立支援制度のサービスの種類、内容、役割	・障がい者（児）福祉の背景と動向 ・障害者自立支援制度の種類、内容とその役割 ・重度訪問介護の制度とサービス ・重度訪問介護利用者の障がい・疾病、心理、地域生活、社会参加についての理解
(2) 居宅介護従業者の職業倫理 （１時間　通信） （１時間　通学）	居宅介護に従事する際の職業倫理について理解する	・福祉業務従事者としての倫理 ・居宅介護においてとるべき基本的態度 ・利用者の人権
2 基礎的な介護技術に関する講義（１時間）		
(3) 介護概論 （１時間　通信）	・介護の目的と機能を理解 し、介護の基本原則を把握する ・在宅介護の特徴とすすめ方を把握する	・介護の目的、機能と基本原則 ・介護ニーズと基本的対応 ・福祉用具の基礎知識と活用等についての理解
3 コミュニケーションの技術に関する講義（２時間）		
4) コミュニケーション技術 （2 時間　通信）	コミュニケーション技術にするついての理解する	・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについての理解 ・意思疎通に著しい困難を有する重度の肢体不自由者とのコミュニケーション方法についての理解

4 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①　（３時間）		
（5）　喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 （通信 1.5 時間） （通学 1.5 時間）	･喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害や喀痰吸引の手順を正しく理解する ･緊急時の対応及び危険防止に関する知識を習得する	・呼吸について ・呼吸異常時の症状、緊急時対応 ・人工呼吸器について ・人工呼吸器に係る緊急時対応 ・喀痰吸引概説 ・口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の吸引 ・喀痰吸引のリスク、中止要件、緊急時対応 ・喀痰吸引の手順、留意点
5 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②　（３時間）		
（6）　経管栄養の手順と緊急時の対応 （通信 1.5 時間） （通学 1.5 時間）	･経管栄養を必要とする重度障害者の障害や経管栄養の手順を正しく理解する ･緊急時の対応及び危険防止に関する知識を習得する	・健康状態の把握 ・食と排泄（消化）について ・経管栄養概説 ・胃ろう（腸ろう）と経鼻経管栄養 ・経管栄養のリスク、中止要件、緊急時対応 ・経管栄養の手順、留意点

Ⅱ 演習１時間 ※ 網掛けになっている教科は、基本研修に相当する演習。		
(1) 喀痰吸引等に関する演習（1 時間）		
１ 喀痰吸引等に関する演習 （１時間　通学）	喀痰吸引等の手順を習得する	・喀痰吸引（口腔内） ・喀痰吸引（鼻腔内） ・喀痰吸引（気管カニューレ内部） ・経管栄養（胃ろう・腸ろう） ・経管栄養（経鼻）

Ⅲ 実習８．５時間		
１ 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（３時間）		
(1) 基本介護技術 （１．５時間　通学）	基本的な介護技術と介護の際に留意する事項について理解する	･重度の肢体不自由者への介護の際の留意が必要な支援技術についての理解

(2) 重度の肢体不自由者コミュニケーションの方法（１．５時間　通学）	コミュニケーションの方法等について理解する	・重度の肢体不自由者とのコミュニケーション方法及びその技術についての理解 ・基本介護技術を含めて、１．５時間のうち０．７５時間を超えない範囲で、基礎的な介護技術についての演習に代えることができる
２ 外出時の介護技術に関する実習（２時間）		
(3) 外出介護技術（２時間　通学）	外出時の付き添い方法及び介護の際に留意する事項についての理解する	・外出時の付き添い方法についての理解 ・介護の際に留意が必要な支援技術の習得 ・２時間のうち１時間を超えない範囲で、外出時の介護技術についての演習に代えることができる
３ 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（３．５時間）		
(4) 介護実習（通学 3.5 時間）	重度の肢体不自由者の介護方法について理解する	指定重度訪問介護における実習 ・重度の肢体不自由者の介護を体験する。 ・在宅等で生活する障害程度区分５又は６である肢体不自由者に対する介護サービス提供現場（１か所以上）で実習を行うこと

使　用　備　品　一　覧

事業者名　土屋ケアカレッジ札幌教室

研修課程　重度訪問介護従業者養成研修研修 統合課程

	使用備品	備考
	シュミレーター＋吸引機＋経管栄養器具　4 式	医療的ケア演習
	洗浄綿　コップ　適宜	医療的ケア演習
	介護ベッド 2 式　　杖 2 式　　車いす 2 式	介護実習
	パジャマ各種　タオル各種　　紙おむつ各種　適宜	介護実習
	体位変換用まくら　一式　　文字盤　3 枚	介護実習

オンライン通信指導及び面接指導の指導方法書

１通信指導
(1)実施方法
対象科目について、担当講師がオンライン上で講義をライブ配信する。
受講生はあらかじめ通知されたURLにて視聴する。
質問はZoomのQA機能、チャット機能、発言可能機能により、講師が適宜受付け、その場で回答することを基本とする。
オンライン授業中は全時間帯にわたり、受講状況および受講態度を確認するための管理視聴者を１名配置して実施する。

(2)管理視聴者は以下の業務を担当する：
・各受講生のログイン状況および在席確認
・受講態度（離席・無反応・私語・居眠り等）のモニタリング
・不適切な行動が見られた場合、Zoomのチャット機能や電話等により注意喚起を行う
・注意後も改善が見られない場合は、Zoomからの強制退出を行い、当該講義の再受講を指示する
これにより、受講の出欠確認および受講態度の把握をリアルタイムで行う。

２　面接指導
面接指導の講義・演習

科目（項目）名	内　　容	研修時間
障害者総合支援制度とサービス	・障がい者（児）福祉の背景と動向を理解する ・障害者自立支援制度の種類、内容とその役割を理解する ・重度訪問介護の制度とサービスを理解する ・重度訪問介護利用者の障がい・疾病、心理、地域生活、社会参加についての理解する 【通信講義】 スライドを用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する	1時間（通信）
居宅介護従業者の職業倫理	･福祉業務従事者としての倫理について考える ･居宅介護においてとるべき基本的態度を理解する ・利用者の人権について理解を深める 【通信講義１時間】 スライドを用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する	2時間（通信・通学）

	【通学講義 1 時間】 振返りとまとめを行う。	
介護概論	・介護の目的、機能と基本原則を理解する ・介護ニーズと基本的対応を学ぶ ･福祉用具の基礎知識と活用等についての理解する 【通信講義】 スライドを用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する	1時間（通信）
コミュニケーション技術	･言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて理解する ･意思疎通に著しい困難を有する重度の肢体不自由者とのコミュニケーション方法についての理解を深める 【通信講義】 スライドや動画を用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する。	2時間（通信）
喀痰吸引の手順と緊急時の対応等	・呼吸について ・呼吸異常時の症状、緊急時対応を学ぶ ・人工呼吸器について ・人工呼吸器に係る緊急時対応を学ぶ ・喀痰吸引概説 ・口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の吸引の仕組みを知る ・喀痰吸引のリスク、中止要件、緊急時対応方法を学ぶ ・喀痰吸引の手順、留意点を押さえる 【通信講義 1.5 時間】 スライドを用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する 【通学講義座学 1.5 時間】 テキストをもとに振り返りと補足講義を行う。質疑応答を入れながら講義する	3時間（通信・通学）
経管栄養の手順と緊急時の対応	・健康状態の把握の仕方を理解する ・食と排泄（消化）について理解を深める ・経管栄養概説を学ぶ ・胃ろう（腸ろう）と経鼻経管栄養について理解を深める ・経管栄養のリスク、中止要件、緊急時対応について学ぶ	3時間（通信・通学）

	・経管栄養の手順、留意点を押さえる 【通信講義 1.5 時間】 スライドを用いた座学講義。質疑応答を入れながら講義する 【通学講義座学 1.5 時間】 テキストをもとに振り返りと補足講義を行う。質疑応答を入れながら講義する	
喀痰吸引等に関する演習	【演習内容】 以下の項目をシュミレーターを使って実施する。 ・喀痰吸引（口腔内） ・喀痰吸引（鼻腔内） ・喀痰吸引（気管カニューレ内部） ・経管栄養（胃ろう・腸ろう） ・経管栄養（経鼻） 【指導体制】 　担当講師によるレクチャ-後、受講生の経験値、履修度にあわせた演習指導を行う。 【通学演習 1 時間】 テキストの手順をもとに実技演習を行う。質疑応答を入れながら演習する	1時間（通学）
基本介護技術	･重度の肢体不自由者への介護の際の留意が必要な支援技術についての理解する 【通学実習】 体位変換・移乗・更衣の本質を説いた後、 実技演習を行う。質疑応答を入れながら演習する 障がいの特性に合わせた介助の方法を伝える。	1.5時間（通学）
重度の肢体不自由者コミュニケーションの方法	･重度の肢体不自由者とのコミュニケーション方法及びその技術についての理解を深める ・基本介護技術を含めて、１．５時間のうち０．７５時間を超えない範囲で、基礎的な介護技術についての演習に代えることができる 【通学実習】 健常者とのコミュニケーションの違いを説いた後、文字盤を使ったコミュニケーション介助を学ぶ。 質疑応答を入れながら演習する 障がいの特性に合わせた介助の方法を伝える。	1.5時間（通学）
外出介護技術	・外出時の付き添い方法についての理解する	2時間（通学

	･介護の際に留意が必要な支援技術の習得する ・２時間のうち１時間を超えない範囲で、外出時の介護技術についての演習に代えることができる 【通学実習】 外出支援の意味合いを説いた後、車いすの使い方を学ぶ。 外出時に必要な視点を理解する。 質疑応答を入れながら演習する 障がいの特性に合わせた介助の方法を伝える。	）
介護実習	指定重度訪問介護における実習 ・重度の肢体不自由者の介護を体験する。 ･在宅等で生活する障害程度区分５又は６である肢体不自由者に対する介護サービス提供現場（１か所以上）で実習を行うこと 【通学実習】 実際の訪問を体験理解する。 障がい者の実生活に合わせた介助の方法を伝える質疑応答を入れながらすすめる。	3.5時間（通学）

【指導体制について】
資格を有する担当講師並びに実習訪問先においては協力事業所担当者と連携して指導する。協力事業所担当者による実際の支援に基づいた指導を行う。
研修修了後、就業に向けた振り返りを行う。

添付３号様式

講　師　一　覧

講師調書 番　　号	氏　　名	担当教科	資　格　名	専兼別	備　考
４	湯田佐和子	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習（１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2018年7月～2020　　年 9 月ユースタイルラボラトリー株式会社 2020 年 10 月～現在 株式会社土屋
５	三浦耕太	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（２）居宅介護従業者の職業倫理 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2019年10月～ 2020 年 9 月ユースタイルラボラトリー株式会社 2020 年 12 月～ 株式会社土屋

8	熊谷真代	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（２）居宅介護従業者の職業倫理 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2019年2月～2020年1月ユースタイルラボラトリー株式会社 2020年2月～2021年1月合同会社オフィスS&T 2020年11月～株式会社土屋
10	齊藤みさを	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習（１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2010年4月～2020年9月浜松とよおか病院 202年6月～株式会社土屋
12	加納康行	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術	介護福祉士	兼任	2015年3月～2021年8月初山別村社会福祉協議会 2021年9月～株式会社土

		１基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習			屋
13	長谷川信子	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習（１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2014年6月～2019年3月 春日井クリニック 2021年10月～ 株式会社土屋
14	辻百合香	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習（１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2013年10月～2016年10月 ニチイケアパレス　ニチイホームたまプラーザ 2019年10月～ 企業主導型保育園ぷれおね 2022年6月

					～ 株式会社土屋
20	船水敦子	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（２）居宅介護従業者の職業倫理 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2013 年 3 月～2024 年 5 月 医療法人耕仁会介護老人保険施設セージュ 2024 年　5 月～現在 株式会社土屋
21	若﨑一恵	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（２）居宅介護従業者の職業倫理 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2015 年 8 月～2018 年 3 月 札幌サンシャイン総合学園 2023 年 10 月～現在 ユースタイルラボトリー株式会社札幌校 2024 年 5 月～現在 株式会社土屋

23	三原清美	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習（１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2004年5月～2019年12月 北海道総合在宅ケア事業団 2022年9月～現在 あずみ福祉カレッジ 2023年3月～現在 株式会社土屋
24	中原しのぶ	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2017年11月～2020年10月 ユースタイルラボラトリー株式会社 2020年11月～現在 株式会社土屋

25	魯山香織	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2019年3月～2020年10月 ユースタイルラボラトリー株式会社 2020年11月～現在 株式会社土屋
26	細井俊一	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介	介護福祉士	兼任	2015年7月～2021年4月 社会福祉法人AnnBee 2021年5月～現在 株式会社土屋

		護サービス提供現場での実習（４）介護実習			
27	香山里美	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① （５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② （６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習 （１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2004 年 7 月 ～2015 年 7 月 鳥越病院 2016 年 6 月 ～2022 年 6 月 森下病院 2021 年 7 月 ～現在 株式会社土屋
28	鈴木真人	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① （５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② （６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習 （１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2007 年 4 月 ～2012 年 3 月 札幌花園病院 2021 年 4 月 ～2023 年 3 月 北海道大学病院 2025 年 11 月 ～現在 株式会社土屋

29	林崇	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（４）介護実習	介護福祉士	兼任	2016年4月～2023年2月 ふくる介護相談所 2023年3月～現在 株式会社土屋
30	佐々木義尚	１重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（１）障碍者総合支援制度とサービス（２）居宅介護従業者の職業倫理２基礎的な介護技術に関する講義（３）介護概論 ３コミュニケーションの技術に関する講義（４）コミュニケーション技術 １基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（１）基本介護技術（２）重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 ２外出時の介護技術に関する実習（３）外出介護技術 ３重度の肢体不自由者の介	介護福祉士	兼任	2009年7月～2018年3月 グループホームせせらぎの森 2022年10月～現在 株式会社土屋

		護サービス提供現場での実習（４）介護実習			
31	大橋陽子	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① （５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② （６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習 （１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2014 年 4 月～2022 年 9 月 恵佑会札幌病院 2024 年 4 月～現在 株式会社 えぞ 2026 年 3 月～ 現在 株式会社土屋
32	永井恵美子	４喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① （５）喀痰吸引の手順と緊急時の対応等 ５経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② （６）経管栄養の手順と緊急時の対応 １喀痰吸引等に関する演習 （１）喀痰吸引等に関する演習	看護師	兼任	2015 年 2 月～2018 年 5 月 医療法人恵生会竹山病院 2018 年 7 月～2021 年 7 月 医療法人平川病院 2023 年 1 月～ 現在 株式会社土屋

注１　講義及び演習を担当する者について記載すること。
　２　講義を通信で行う場合の添削責任者及び面接指導者についても記載し、「備考」欄にその旨記載すること。

添付５号様式

実　習　施　設　一　覧

研　修　課　程　重度訪問介護従事者養成研修統合課程

事業所の所在地　北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目7-8
3D コート 3A 号室

【実習教科名：Ⅲ1　基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習】

承諾書番号	施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
						氏名	経験年数	主な資格等
1	ホームケア土屋札幌	062-0933	北海道札幌市豊平区平岸3条8丁目7-3　KYビル2F	050-3138-2312	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
6	ホームケア土屋白石	003-0012	北海道札幌市白石区中央2条6丁目1-38　SOC白石ビル3F-AB号室	050-3171-8120	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
7	土屋ケアカレッジ札幌教室	003-0002	北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目7-8　３Dコート3階　4階	050-3138-2024	株式会社土屋	加納康行	13	介護福祉士
8	ホームケア土屋函館	041-0852	北海道函館市鍛治1丁目27番3号1F	050-1724-8337	株式会社土屋	三浦耕太	23	介護福祉士

注１　この様式は、実習教科ごとに作成すること。障害者居宅介護従業者基礎研修課程の実習の場合には、「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（居宅介護同行訪問見学）」と「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（指定生活介護見学）」に分けて作成すること。

２　「設置者名」は、施設長名ではないこと。　　例　社会福祉法人□□会　障害者支援施設△△荘　→　設置者は□□会となる。

添付５号様式

実　習　施　設　一　覧

研　修　課　程　重度訪問介護従事者養成研修統合課程

事業所の所在地　北海道札幌市白石区東札幌２条５丁目7-8
3D コート 3A 号室

【実習教科名：Ⅲ2　外出時の介護技術に関する実習】

承諾書番号	施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
						氏名	経験年数	主な資格等
1	ホームケア土屋札幌	062-0933	北海道札幌市豊平区平岸3条8丁目7-3　KYビル2F	050-3138-2312	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
6	ホームケア土屋白石	003-0012	北海道札幌市白石区中央2条6丁目1-38　SOC白石ビル3F-AB号室	050-3171-8120	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
7	土屋ケアカレッジ札幌教室	003-0002	北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目7-8　３Dコート3階　4階	050-3138-2024	株式会社土屋	加納康行	13	介護福祉士
8	ホームケア土屋函館	041-0852	北海道函館市鍛治1丁目27番3号1F	050-1724-8337	株式会社土屋	三浦耕太	23	介護福祉士

注１　この様式は、実習教科ごとに作成すること。障害者居宅介護従業者基礎研修課程の実習の場合には、「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（居宅介護同行訪問見学）」と「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（指定生活介護見学）」に分けて作成すること。
２　「設置者名」は、施設長名ではないこと。　例　社会福祉法人□□会　障害者支援施設△△荘　→　設置者は□□会となる。

添付５号様式

実　習　施　設　一　覧

研　修　課　程　重度訪問介護従事者養成研修統合課程

事業所の所在地　北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目7-8
3D コート 3A 号室

【実習教科名：　Ⅲ3　重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習】

承諾書番号	施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
						氏名	経験年数	主な資格等
1	ホームケア土屋札幌	062-0933	北海道札幌市豊平区平岸3条8丁目7-3　KYビル2F	050-3138-2312	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
6	ホームケア土屋白石	003-0012	北海道札幌市白石区中央2条6丁目1-38　SOC白石ビル3F-AB号室	050-3171-8120	株式会社土屋	熊谷真代	22	介護福祉士
7	土屋ケアカレッジ札幌教室	003-0002	北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目7-8　３Dコート3階　4階	050-3138-2024	株式会社土屋	加納康行	13	介護福祉士
8	ホームケア土屋函館	041-0852	北海道函館市鍛治1丁目27番3号1F	050-1724-8337	株式会社土屋	三浦耕太	23	介護福祉士

注１　この様式は、実習教科ごとに作成すること。障害者居宅介護従業者基礎研修課程の実習の場合には、「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（居宅介護同行訪問見学）」と「指定生活介護を行う事業所等サービス提供現場見学（指定生活介護見学）」に分けて作成すること。
２　「設置者名」は、施設長名ではないこと。　　例　社会福祉法人□□会　障害者支援施設△△荘　→　設置者は□□会となる。